



Activities

Public Symposiums

回	日時	会場	演題	講演者	出席者数
第1回	2005.5.13 (金) 13:00~17:00	高知大学 メディアホール	グリーンサイエンスへの水熱反応の応用	柳澤 和道 理学部教授・部門長	参加者約 130 名 (うち学外 20 名)
			海洋地殻の熱的変遷と海底資源生成プロセス	石塚 英男 理学部教授	
			環境調和型有用・再生資源の発掘と分析システムの構築	蒲生 啓司 教育学部教授	
			高知県工業技術センターにおける研究について	浜田 和秀 県工業技術センター	
			環境調和型有機合成手法の開発	小槻日吉三 理学部教授・部門長	
			天然物の合成研究	市川 善康 理学部教授	
			環境調和型触媒の合成と応用	上田 忠治 理学部准教授	
			三井化学における環境調和型技術の開発	深田 功 三井化学㈱	
			抗原特異的なT細胞の制御と疾患への応用	宇高 恵子 医学部教授・部門長	
			第3の生命鎖、糖鎖の情報をいかに解読するか?	本家 孝一 医学部教授	
			嗅覚系を用いた生理活性物質の機能評価	柘 秀人 医学部教授	
			固体発光性色素の分子設計・合成・機能評価	吉田 勝平 理学部教授	
			金属ナノ粒子を利用した高感度化学センサーの開発	渡辺 茂 理学部准教授	
			自然抗菌リソースの医用活用ーバクテリオファージ療法	今井 章介 医学部教授・部門長	
アレルギー反応を助長する環境化学物質のスクリーニング法の開発	中村 裕之 金沢大院医教授				
魚類の感染症とその予防	大嶋俊一郎 黒潮圏海洋科学准教授				
高知県海洋深層水研究における研究について	川北 浩久 県海洋深層水研究所				
第2回	2006.1.14 (土) 13:00~17:15	高知大学 メディアホール	エコトピア科学ー循環型社会への道標ー	伊藤 秀章 名古屋大学エコトピア科学研究所・教授, 副所長	参加者約 90 名 (うち学外 10 名)
			過酸化水素を用いる環境調和型酸化反応の開発	佐藤 一彦 産業技術総合研究所環境化学技術研究部門研究グループ長(兼) 連携研究体長	
			リガンド結合が誘導するラフトによるシグナル変換:1 分子追跡による研究	鈴木 健一 京都大学再生医科学研究所・特任助手	
			感染症と生体防御ー侵襲、毒素、薬剤耐性	内山 竹彦 東京女子医科大学医学部・教授	

回	日時	会場	演題	講演者	出席者数
第3回	2006.5.19 (金) 13:00~18:00	高知大学 メディアホール	グリーンサイエンスへの水熱反応の応用 —廃棄ガラスの軽量発泡板への変換技術の 開発結果とアスベストの分解技術開発計画—	柳澤 和道 理学部教授・部門長	参加者 84 名 (うち学外 12 名)
			多段階熱水活動の発見とその海底資源生成 における意味	石塚 英男 理学部教授	
			海底マンガン酸化物の形成プロセスと資源 開発技術	臼井 朗 理学部教授	
			環境調和型有用・再生資源の発掘と分析シ ステムの構築	蒲生 啓司 教育学部教授	
			超高压反応場を利用する環境調和型有機合 成手法の開発	小槻日吉三 理学部教授・部門長	
			含窒素生理活性物質の効率的合成法の開発	市川 善康 理学部教授	
			環境調和型触媒の合成と応用	上田 忠治 理学部准教授	
			環境調和型生産技術の開発	深田 功 三井化学㈱	
			過酸化水素を利用する環境調和型酸化技術 の開発	佐藤 一彦 産業技術総合研究所	
			糖脂質膜ドメインを場とする胸腺細胞分化	宇高 恵子 医学部教授・部門長	
			環境調和型有機合成と糖鎖生物学の架け橋	本家 孝一 医学部教授	
			嗅覚情報処理・記憶機構	柁 秀人 医学部教授	
			固体発光性色素の分子設計・合成・機能評価	吉田 勝平 理学部教授	
			金属ナノ粒子を利用した高感度化学センサ ーの開発	渡辺 茂 理学部准教授	
			難治性ヒト感染症に対する新制御法の開発	今井 章介 医学部教授・部門長	
乳幼児からのアレルギー発症予防用生活水 浄化特殊フィルターの開発	中村 裕之 医学部教授				
魚類感染症に対する実用的な予防法の開発	大嶋俊一郎 黒潮圏海洋科学准教授				
第4回	2007.1.26 (金) 13:00~17:30	高知大学 メディアホール	「技術を社会へ」を目指して —過酸化水素酸化反応の開発と展開	佐藤 一彦 産業技術総合研究所・研究グループ長・客員教 授	参加者 84 名 (うち学外 17 名)
			環境適応技術の新展開 —易崩壊型生分解性材料の開発	深田 功 三井化学㈱基礎科学品事業 G・企画管理部主 席部員・客員教授	
			新規乾式転写技術による高意匠性自動車ハ ンドルの開発	篠原 速都 高知県工業技術センター・資源環境部長・客員 教授	
			水の中のウイルスたち —未知なる遺伝資源の宝庫	長崎 慶三 瀬戸内海区水産研究所・赤潮環境部・赤潮制御 研究室長	
			MHC 結合ペプチドを利用した T 細胞の制 御	宇高 恵子 医学部免疫学講座・教授	

回	日時	会場	演題	講演者	出席者数
高知市民の大学	2007.4.10～ 7.17 18:30～20:00	高知市文化 プラザ 大講義室（11階）	本コースの概要とねらい ーグリーンサイエンスとは何かー	小槻 日吉三 高知大学理学部教授	
			アレルギー症を予防するには	中村 裕之 金沢大学大学院医学系研究科教授	
			医薬品・農薬をつくるには	市川 善康 高知大学理学部教授	
			自然抵抗力を活かした免疫治療とは	宇高 恵子 高知大学医学部教授	
			生命を支える糖鎖とは	本家 孝一 高知大学医学部教授	
			においを嗅ぎ分ける動物の神秘	椛 秀人 高知大学医学部教授	
			『金』とナノテクノロジー	渡辺 茂 高知大学理学部准教授	
			役に立つ色々な色 ー多彩な物性・機能とその応用についてー	吉田 勝平 高知大学理学部教授	
			抗生物質が効かない細菌感染症の恐怖	今井 章介 高知大学医学部教授	
			魚を病気から守る	大嶋 俊一郎 高知大学大学院黒潮圏海洋科学研究科准教授	
			地球を救う魔法の水	柳澤 和道 高知大学理学部付属水熱化学実験所所長・教授	
			深海底に眠る未利用鉱物資源をさぐる	臼井 朗 高知大学理学部教授	
			海洋底調査が切り開く新しい地球観	石塚 英男 高知大学理学部教授	
分離化学が先端研究に果たす役割	蒲生 啓司 高知大学教育学部教授				
海洋に有用天然物資源を探る	津田 正史 海洋コア総合研究センター 教授				
第5回	2007.5.23 (水) 13:00～17:30	高知大学 メディアホール	「土佐の山間から出づ」21世紀を見据えた 科学研究の方向	高橋 正征 黒潮圏海洋科学研究科・研究科長／教授	参加者 83 名 (うち学外 21 名)
			植物成分由来の創薬シーズの探索と機能 性食品への応用	大崎 愛弓 東京医科歯科大学生体材料工学研究所・助教	
			新規ホスファゼン触媒の開発と展開	昇 忠仁 三井化学(株)マテリアルサイエンス研究所・所 長／客員教授	
			遺伝子情報と代謝産物マッピングを用いた 新規創薬シーズの探索	津田 正史 海洋コア総合研究センター・教授	
			New Perspectives in de novo Synthesis of Sugars and Derivatives	Prof. J. Maddaluno(IRCOF/Universite de Rouen, France)	
第6回	2008.3.7(金) 13:00～17:30	高知大学 メディアホール	アスベスト廃棄物の無害化・リサイクル技 術の開発	柳澤 和道 理学部教授	参加者 82 名 (うち学外 15 名)
			ファンデファーカ海嶺東翼における上部海 洋地殻の熱水変質作用	石塚 英男 理学部教授	
			液体クロマトグラフィー/質量分析法を用 いる低分子有機化合物の高感度精密分析 法の開拓	蒲生 啓司 教育学部教授	
			超高压反応を基軸とする環境調和型物質 変換プロセスの開発	小槻日吉三 理学部教授	
			シグマトロピー反応を活用した天然物の 合成研究	市川 善康 理学部教授	
			環境調和型触媒を目指した新規無機高分 子錯体の合成と特性評価	上田 忠治 理学部准教授	

回	日時	会場	演題	講演者	出席者数
第6回	2008.3.7 (金) 13:00～ 17:30	高知大学 メディアホール	鋤鼻系の in vitro 再構築系におけるニューロンの発生・分化・成熟と神経回路形成のメカニズム	梶 秀人 医学部教授	参加者 82 名 (うち学外 15 名)
			炭素-炭素二面角解析による抗腫瘍性マクロリドの溶液中配座と絶対立体配置	津田 正史 海洋コア教授	
			環境化学物質によるアレルギー発症を予防する	中村 裕之 金沢大院医教授	
第7回	2008.5.23 (金) 13:00～ 17:30	高知大学 メディアホール	深海底におけるレアメタルの挙動, 鉱物・化学的形態, 資源回収技術	臼井 朗 理学部教授	参加者 110 名 (うち学外 13 名)
			クリーンな酸化反応の開発と展開	佐藤 一彦 産業技術総合研究所	
			HLA 結合性ペプチドを用いた悪性腫瘍免疫療法の開発	宇高 恵子 医学部教授	
			細胞膜上分子間相互作用の生化学的可視化	小谷 典弘 医学部助教	
			固体発光性色素の分子設計・合成・機能評価	吉田 勝平 理学部教授	
			高規則性金属ナノドットアレイの自発形成方法の開発	渡辺 茂 理学部准教授	
			魚類養殖における食料の安定供給の鍵は?	大嶋俊一郎 黒潮圏海洋科学研究科・准教授	
			多剤耐性細菌感染症に対するバクテリオファージ療法	松崎 茂展 医学部准教授	
			ガラスの鎧を持つ珪藻類はウイルスに感染するか?	長崎 慶三 水産総合研究センター・瀬戸内海区水産研究所	
			「創造的研究の勧め。進め方とコツ」	細見 彰 筑波大学名誉教授・学習院大学客員教授・京都薬科大学客員教授	
第8回 (第1回 高知大学 鯨シボウム)	2009.1.10 (土) 9:00～18:00	日本薬学会 長井記念ホール (東京)	水熱反応を用いる物質循環/資源再生プロセスの開発	柳澤 和道 理学部教授	参加者 103 名 (うち学外 65 名)
			環境調和型有機合成反応の開発による有用物質の創成	小槻 日吉三 理学部教授	
			転位反応を用いた天然物の合成	市川 善康 理学部教授	
			HLA 結合性ペプチドを用いた T 細胞誘導型免疫治療の開発	宇高 恵子 医学部教授	
			糖鎖の機能解析と応用	本家 孝一 医学部教授	
			海産微細藻からの抗腫瘍性物質の探索と開発	津田 正史 海洋コア教授	
			各種魚類ウイルス感染症に対するワクチンの開発	大嶋 俊一郎 黒潮圏海洋科学研究科・准教授	
			Intramolecular Carbometallation of Alkynes: a Versatile Route to Heterocycles	Prof. J. Maddaluno IRCOF/U of Rouen, FRANCE	
			環境対応技術の開発 三井化学を例に	昇 忠仁 三井化学(株)マテリアルサイエンス研究所・所長	
			New Catalytic Methods Designed for the Efficient Synthesis of Natural Products	Prof. T. J. Donohoe University of Oxford, UK	
二中心不斉触媒の新しい展開	柴崎 正勝 東京大学大学院薬学系研究科・教授				

International Exchanges

Visitors

Dr. Zhu Kongjun	April 1~October 31, 2005	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Meng Xianping	June 24~25, 2005	National Natural Science Foundation of China, China
Dr. J. C. Rendon Angeles	July 15~August 12, 2005	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Ms. Y. M. Rangel-Hernández	July 15~August 12, 2005	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Prof. Zully Matamoros Veloza	July 15~August 12, 2005	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Prof. Dan Wang,	August 27~September 27, 2005	Institute of Process Engineering, China,
Dr. J. C. Rendon Angeles	November 10~26, 2005	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Dr. Li Nan	January 16~,2006~ March 31, 2008	Jilin University,, China
Prof. Richard E. Riman	March 31~April 5, 2006	Rutgers University, USA
Dr. Vivek J. Bulbule	June 6~8, 2006	Department of Chemistry, University of Washington, USA
Dr. J. C. Rendon Angeles	July 7~August 11, 2006	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Ms. Y. A. Saldaña Salaza	July 7~August 11, 2006	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Prof. Zully Matamoros Veloza	July 7~August 11, 2006	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Prof. Karl Thomas Fehr	August 3~7, 2006	Ludwig-Maximilians University, Germany
Dr. J. C. Rendon Angeles	October 16~November 12, 2006	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Ms. G. V. Figueroa Martínez	October 16~November 12, 2006	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Prof. Zully Matamoros Veloza	November 5~12, 2006	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Dr. J. C. Rendon Angeles	March 29~April 21, 2007	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Mr. H. J. Montoya Rodriguez.	March 29~April 21, 2007	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Prof. Zully Matamoros Veloza	March 29~April 21, 2007	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Ms. S. H. Chavez Paz	March 29~April 21, 2007	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Prof. Jacques Maddaluno	May 22~24, 2007	IRCOF/ Universite de Rouen
Prof. Wuxing Zhang	July 7~25, 2007	Huazhong University of Science and Technology, China
Prof. Bruce H. Lipshutz	August 6~8, 2007	Department of Chemistry, University of California, Santa Barbara, USA
Prof. Nobert Krause	August 8~9, 2007	Department of Chemistry, Dortmund University, Germany
Dr. Muriel Durandetti	August 8~15, 2007	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Prof. Shu-Zhi Yao	August 23~25, 2007	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Jian-Feng Huang	August 23~25, 2007	Shanxi University of Science and Technology, China
Dr. J. C. Rendon Angeles	October 1, 2007~ September 30, 2008	The National Polytechnical Institute, Saltillo Campus, Mexico
Prof. Jacques Maddaluno	October 7~21, 2007	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Prof. Zully Matamoros Veloza	December 9, 2007~ January 12, 2008	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Dr. M. A. Cisneros Guerreo	December 9~13, 2007	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Dr. Ding Xiang	December 10, 2007~ March 31, 2009	Institute of Process Engineering, China
Prof. Vakhid A. Mamedov	January 18~19, 2008	Kazan Research Center of the Russian Academy of Sciences, Russia
Prof. Zully Matamoros Veloza	March 15~27, 2008	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Prof. Zully Matamoros Veloza	June 19~July 31, 2008	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Mr. C. Gomez Rodriguez	June 19~July 31, 2008	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Mr. P. D. Sandoval Cerda	June 19~July 31, 2008	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Dr. Muriel Durandetti	July 9~23, 2008	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Dr. Xavier Franck	July 9~23, 2008	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Dr. M. A. Cisneros Guerreo	July 28~August , 2008	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Ds J. Contreras Garcia	July 28~August , 2008	Technical Institute of Saltillo, Mexico
Prof. Jian-Feng Huang	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China

Prof. Zhang Meiyun	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Dong Jixian	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Ren Huijun	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Tan Guoqiang	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Yin Hairong	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Cao Liyun	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Ms. Wang Haihua	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Ms. Li Cuiyan	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Yin Lixiong	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Ms. Li Wei	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Liu Liying	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Tian Qingquan	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Yu Chenglong	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Li Junqi	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. He Xuanmeng	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Liu Jian	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Ms. Zeng Liping	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Xia Changkui	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Mr. Liu Miao	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Ms. Han Wen	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Ms. Li Juanying	August 8~12, 2008	Shanxi University of Science and Technology, China
Prof. Jacques Maddaluno	October 28~November 4, 2008	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Dr. Tao Haijun	November 14, 2008~	Nanjing University of Aeronautics and Astronautics, China
Prof. Jacques Maddaluno	January 9~16, 2009	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Prof. Timothy J. Donohoe	January 9~16, 2009	Department of Chemistry, University of Oxford, UK
Prof. Michael A. Hollingsworth	March 23-24, 2009	University of Nebraska Medical Center, Omaha, USA

Inspectors

Prof. K. Yanagisawa	June 24~July 4, 200	Joint 20th AIRAPT –EHPRG International Conference on High Pressure Science and Technology, Karlsruhe, Germany
Prof. K. Yanagisawa	October 20~22, 2005	Shanghai Institute of Ceramics, China
Prof. K. Yanagisawa	October 23~26, 2005	The Fourth China International Conference on High-Performance Ceramics, Chengdu, China
Prof. K. Yanagisawa	October 27~30, 2005	Institute of Process Engineering, China
Prof. K. Yanagisawa	June 19~25, 2006	Third International Conference on Waste Management 2006, Malta
Prof. K. Yanagisawa	November 13~22, 2006	Congreso Internacional De Metalurgia Y Materiales, Mexico., Research Center for Advanced Studies of the NPI, Saltillo-Campus, & Saltillo Institute of Technology, Mexico
Prof. K. Yanagisawa	December 18~21, 2006	Shanxi University of Science & Technology, China
Prof. K. Yanagisawa	December 21~23, 2006	Institute of Process Engineering, China
Prof. K. Yanagisawa	September 16~23, 2007	Joint 21st AIRAPT and 45th EHPRG International Conference on High Pressure Science and Technology, The University of Catania, Italy
Prof. K. Yanagisawa	October 7~12, 2007	UMRS-ICAM 2007 (The 8th International Conference on Advanced Materials), Bangalore, India
Prof. K. Yanagisawa	November 12~14, 2007	The 7th PACIFIC RIM Conference on Ceramic and Glass, Shanghai, China
Prof. K. Yanagisawa	June 25~28, 2008	Shanxi University of Science & Technology, China
Prof. K. Yanagisawa	September 7~11, 2008	International Solvothermal and Hydrothermal Association-2008, Nottingham, UK
Prof. K. Yanagisawa	September 12~16, 2008	Crystalox, Wantage, UK
Prof. K. Yanagisawa	October 18~29, 2008	Congreso Internacional De Metalurgia Y Materiales, Mexico.,

Prof. K. Yanagisawa	December 5~7, 2008	Research Center for Advanced Studies of the NPI, Saltillo-Campus, & Saltillo Institute of Technology, Mexico
Prof. K. Yanagisawa	December 8~11, 2008	Nanjing University of Aeronautics and Astronautics, China The 1st China International Symposium on Particles Technology, Shanghai, China
Prof. K. Gamoh	October 18~26, 2007	University of Goteborg, Sweden
Prof. K. Gamoh	January 21~24, 2008	Lomonoxop High School, Vietnam
Prof. K. Gamoh	November 30~December 4, 2008	Lomonoxop High School, Vietnam
Prof. K. Gamoh	December 15~18, 2008	Jiangsu Polytechnic University, China
Prof. K. Gamoh	March 1~7, 2009	Lomonoxop High School, Vietnam
Prof. H. Kotsuki	December 15~21, 2005	2005 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2005), Honolulu, USA
Prof. H. Kotsuki	July 13~15, 2007	Centre for Green Chemistry, Monash University, Australia
Prof. H. Kotsuki	July 15~20, 2007	The 21st International Congress of Heterocyclic Chemistry (IHC-21) Sydney, Australia
Prof. H. Kotsuki	September 16~30, 2007	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Prof. H. Kotsuki	September 21, 2007	Laboratoire de Chimie Moleculaire et Thio-Organique, UMR-CNRS, Caen, France
Prof. H. Kotsuki	September 23~25, 2007	Faculte de Chimie, Universite Louis Pasteur, Strasbourg, France
Prof. H. Kotsuki	June 22~27, 2008	17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17), Daejeon, Korea
Prof. H. Kotsuki	June 27~29, 2008	Department of Chemistry, Hallym University, Chuncheon, Korea
Prof. H. Kotsuki	September 18~21, 2008	Departement de Chimie Moleculaire, Universite Joseph Fourier, Grenoble, France
Prof. H. Kotsuki	September 22~24, 2008	Faculte de Chimie, Universite Louis Pasteur, Strasbourg, France
Prof. H. Kotsuki	September 24~29, 2008	IRCOF/ Universite de Rouen, France
Dr. T. Ueda	April 17~October 4, 2007	School of Chemistry, Monash University, Australia
Dr. T. Ueda	March 20~26, 2007	7th Spring Meeting of the International Society of Electrochemistry, Szczyrk, Poland
Prof. K. Honke	November 6-8	Shanghai Jiao Tong University, Shanghai, China

Press Accounts

高知新聞朝刊 2005 年 5 月 12 日	第 1 回 グリーンサイエンス公開シンポジウム開催
愛媛新聞朝刊 2007 年 1 月 3 日 高知新聞朝刊 2007 年 1 月 27 日	新型ワクチンの開発に関する研究成果(宇高)
和光純薬時報 2007 年 4 月号	光学活性アミノピリジル基含有ピロリジン誘導体及びそれを用いた不斉合成方法(小槻)
高知新聞朝刊 2008 年 5 月 21 日 朝日新聞朝刊 2008 年 6 月 2 日 科学新聞 2008 年 6 月 6 日 現代化学(東京化学同人) 2008 年 9 月号 Chemical & Engineering News(米国化学会発行), May 26, 2008	細胞膜の分子集団識別(本家)
化学工業日報 2009 年 1 月 14 日 文教ニュース 2009 年 2 月 16 日	第 1 回高知大学東京シンポジウム「グリーンサイエンスからの発信」開催
Nature News, March 2, 2009	ファージ療法に関するコメント(松崎)

■ Awards

物質循環／資源再生研究部門 Section of Materials Recovery & Reproduction

- 柳澤和道 学術賞（第14回日本無機リン化学会），2005年6月
テーマ：リン酸アパタイトの水熱合成に関する研究
- 柳澤和道 学術賞（第59回日本セラミック協会），2005年5月
テーマ：水熱反応技術の新しい展開に関する研究
- 恩田歩武 平成18年度助成研究・助成金贈呈（財団法人・国際科学技術財団）
テーマ：数mmサイズの金属間化合物微粒子を基板上に担持した燃料電池用
デバイスの開発
- 金澤正澄, 柳澤和道, 白石雅嗣, 高浪哲郎, 前 尚樹 優秀プロジェクト賞（京都大学環境衛生工学研究会），平成19年7月20日
テーマ：加熱蒸気によるアスベストの無害化・再資源化の低コスト・大量処理技
術
- 恩田歩武 若手教員研究優秀賞（平成20年度高知大学研究顕彰），2009年1月
テーマ：水熱技術を応用した固体触媒化学に関する研究，およびバイオマス化学
変換への展開

物質変換／物質創成研究部門 Section of Materials Transformation & Synthesis

- 隈本康司 大学院生研究奨励賞（平成17年度高知大学研究顕彰），2006年2月
テーマ：超高压反応の特性を利用した無触媒的縮合反応の開発と環境調和型
分子変換への展開
- Saleha Azad 平成19年度笹川科学研究助成受賞，2007年4月27日
テーマ：超高压縮合反応を基軸とする多官能性有機化合物の効率的合成
- 高 京民 平成20年度笹川科学研究助成受賞，2008年4月25日
テーマ：水を溶媒として用いる環境調和型有機合成反応の開発
- 南部順一 優秀賞（第14回中国四国支部分析化学若手セミナー），2008年7月26-27
テーマ：Keggin型V(V)置換三元ポリオキソメタレート錯体の電気化学的
酸化還元挙動

機能開拓／機能評価研究部門 Section of Functional Analysis & Evaluation

- 彌田智一, 鎌田香織, 吉田博久, 渡辺茂 科学技術賞（研究部門）（平成19年度文部科学大臣表彰），2007年4月
テーマ：高信頼性ナノ相分離構造テンプレート薄膜に関する研究
- 村本和世 日本味と匂学会研究奨励賞（日本味と匂学会）
- 村本和世, 栂 秀人 日本味と匂学会論文賞（日本味と匂学会）
- 難波利治 平成20年度医療学系長・医学部長裁量経費による研究助成採択
- 奥谷文乃 平成20年度病院長裁量経費による研究助成採択

環境共生／生命環境研究部門 Section of Environmental & Life Sciences

Rashel M, Matsuzaki S, (他3名), Imai S.	奨励賞 (4th Kochi Medical School Research Meeting), 2005年2月 テーマ: Cell wall hydrolase from fMR11 phage: a new powerful therapeutic agent against MRSA/VRSA infections
大嶋俊一郎	若手教員研究優秀賞 (平成17年度高知大学研究顕彰), 2006年2月 テーマ: 魚類感染症に対する有効な予防法の開発に関する研究
内山淳平	Endeavour Awards(Endeavour Research Fellowship), 2008年1月11日 テーマ: バクテリオファージを応用した, 過活動膀胱の新規治療薬の研究 エンデバー賞 (オーストラリア政府公募)
山口愛果	平成20年度笹川科学研究助成, 2008年4月25日 テーマ: 従属栄養性渦鞭毛藻 Protoperidinium における種分類の再検討と属内進化過程の解明
津田正史	2008年度研究助成受賞 (上原記念生命科学財団), 2008年3月11日 テーマ: 海底微生物からの抗腫瘍性物質の探索と開発
津田正史	2008年度薬学系研究奨励金受賞 (武田科学振興財団), 2008年11月13日 テーマ: 海産渦鞭毛藻由来の抗腫瘍性物質の探索と開発
内山淳平	大学院生研究奨励賞 (平成20年度高知大学研究顕彰), 2009年1月 テーマ: 難治性腸球菌感染症に対するバクテリオファージ (ファージ) 療法の研究
熊谷慶子	平成21年度笹川科学研究助成受賞, 2009年4月29日 テーマ: 共生現象の解明を志向した Amphidinium 属渦鞭毛藻のプロテオーム解析

■Expense

区分	平成17年度予算 (千円)	平成18年度予算 (千円)	平成19年度予算 (千円)	平成20年度予算 (千円)	合計 (千円)
教育研究費	17,390	22,950	15,600	14,070	64,600
SciFinder 登録料	7,411	6,440	6,440	6,850	32,601
研究支援推進員	699	1,050	1,200	1,200	4,099
合計	25,500 (8,500)	30,440 (6,400)	23,240 (6,440)	22,120 (7,000)	101,300 (28,340)

※ () 内は大学法人負担額。